

## ■ 安心安全課

▼自衛官募集事務費（2-1-1-07） 30（303）

〔国県支出金：18 一般財源：12〕

※国委託金：自衛官募集事務委託金 18

〔事業概要・効果等〕

自衛隊法による自衛官及び自衛官候補生の募集に関する事務を行う。

・印刷製本費（「広報つくばみらい」への募集記事掲載分） 18

▼交通安全対策事業（2-1-8-01） 8,940（9,382）

〔その他：112 一般財源：8,828〕

※諸収入：県民交通災害共済加入推進費 112

〔事業概要・効果等〕

交通安全に関する啓蒙，対策，カーブミラー等の交通安全設備の設置及び維持管理を行う。

- ・消耗品（新中学生用ヘルメット 1,626 円× 440 個× 1.08 等） 1,195
- ・道路反射鏡新設及び建替工事（新設 48 カ所，撤去 8 カ所） 2,189
- ・道路警戒路面表示新設工事（「スクールゾーンあり」10 カ所） 3,198
- ・注意看板設置工事（5 カ所） 378

▼防犯対策事業（2-1-8-02） 50,222（49,522）

〔国県支出金：3,600 一般財源：46,622〕

※交通安全対策特別交付金：3,600

〔事業概要・効果等〕

防犯に対する啓蒙，対策及び防犯灯の設置及び管理を行う。

- ・光熱水費（防犯灯約 4,800 灯，赤色回転灯 34 カ所の電気料） 34,885
- ・修繕費（防犯灯，赤色回転灯の修理代） 8,400
- ・防犯灯新設工事（新設は全て LED 対応） 3,737

▼放射能対策事業（安心安全課）（4-1-7-01） 2,467（29,051）

〔一般財源：2,467〕

〔事業概要・効果等〕

東日本大震災に伴う放射能物質汚染に対し，市内の空間放射線量の推移を把握するため，空間放射線量調査及び給食食材・完成品，また家事消費用農産物等の食材検査を行う。

- ・臨時職員雇用 0.5 人

▼常備消防費（8-1-1-01） 729,538（734,652）

〔一般財源：729,538〕

〔事業概要・効果等〕

- ・常総地方広域市町村圏事務組合負担金（消防分） 729,538

▼非常備消防総務費（8-1-2-01） 28,052（27,738）

〔その他：5,000 一般財源：23,052〕

※諸収入：消防団員退職報償金 5,000

〔事業概要・効果等〕

消防団員の福利厚生等の充実を図る。

- ・消防団員報酬：団 長 130,300 円
- 副 団 長 98,000 円× 4 人 = 392,000 円
- 本 部 員 98,000 円× 11 人 = 1,078,000 円
- 分 団 長 84,200 円× 12 人 = 1,010,400 円
- 副分団長 62,700 円× 12 人 = 752,400 円

部長 53,900 円 × 12 人 = 646,800 円  
 班長 49,900 円 × 36 人 = 1,796,400 円  
 団員 47,000 円 × 168 人 = 7,896,000 円

・ 消防団員退職報償金 (20 人分) 5,000

▼ 消防団員活動費 (8-1-2-02) 17,199 (16,150)

[一般財源: 17,199]

[事業概要・効果等]

消防団員の活動に伴う経費の支出を行う。

・ 費用弁償 (日当) (出場手当 3,000 円 × 2,598 人分等)  
8,838

・ 消防団活動交付金 消防団本部活動 200,000 円 × 1 団体  
 消防分団活動 300,000 円 × 11 団体  
 地区大会出場 100,000 円 × 2 団体  
 女性消防団 200,000 円 × 1 団体



▼ 防火水槽設置事業 (8-1-3-01) 16,005 (16,005)

[国県支出金: 5,236 一般財源: 10,769]

※ 国補助金: 耐震性貯水槽設置工事補助金 5,236

[事業概要・効果等]

万が一に備え、毎年度、2 基ずつ耐震性貯水槽の設置を行う。

・ 耐震性貯水槽設置工事 (十和地区・小絹地区 各 1 カ所)

▼ 消火栓設置事業 (8-1-3-02) 4,164 (4,366)

[一般財源: 4,164]

[事業概要・効果等]

万が一に備え、消火栓設置及び改修等を行う。

・ 消防水利負担金 (540 円 × 100 トン × 25 件) 1,350  
 ・ 消火栓建設改良負担金 (実際に工事を実施する水道事業会計への負担金) 2,000

▼ 消防団ポンプ車両・団器具置場維持管理事業 (8-1-3-03) 11,728 (1,490)

[その他: 11,000 一般財源: 728]

※ 繰入金: 東日本大震災復興基金繰入金 11,000

[事業概要・効果等]

消防団 (全 11 分団分) の活動に伴う、ポンプ車・器具置場 (車庫) 等の保険に加入し、活動の補助を行う。

・ 第 3 分団器具置場の老朽化に伴う設計業務及び改築工事 11,000

▼ 消防団ポンプ車両更新事業 (8-1-3-04)

16,000 (16,640)

[その他: 16,000]

※ 繰入金: 東日本大震災復興基金繰入金 16,000

[事業概要・効果等]

第 2 分団 (豊地区) のポンプ車の更新を行う。



▼ 水防対策事業 (8-1-4-01) 2,610 (2,795)

[一般財源: 2,610]

[事業概要・効果等]

水防警戒時の消防団員の費用弁償の支給や、災害に備え資材の補充を行う。

・ 費用弁償 (水防警戒出動 3,000 円 × 256 人, 鬼怒川・小貝水防訓練 3,000 円 × 50 人) 918  
 ・ 消耗品費 (土のう袋 120, ブルーシート 162) 282

▼防災関係経費（8－1－5－02） 1,068（927）

〔一般財源：1,068〕

〔事業概要・効果等〕

地域防災計画改正に向けて、防災会議を開催する。

- ・防災会議委員報酬（6,000円×14人×3回） 252
- ・防災ヘリコプター運用負担金 800

▼災害対策総務費（8－1－5－03） 5,282（8,340）

〔国県支出金：5,160 一般財源：122〕

※県委託金：災害救助費委託金 5,160

〔事業概要・効果等〕

防災ファックスの管理や、東日本大震災からの避難住民（6世帯）の民間住宅借り上げを行う

- ・民間賃貸住宅の借り上げによる応急仮設住宅賃借料（60,000円×5世帯×12カ月，90,000円×1世帯×12カ月） 4,680

▼非常備蓄品整備管理事業（8－1－5－04） 1,408（2,783）

〔その他：1,384 一般財源：24〕

※繰入金：東日本大震災復興基金繰入金 1,384

〔事業概要・効果等〕

災害の備えとして、食料・飲料水、災害用備品の確保及び維持管理を行う。

- ・避難所用備品（投光器 6,980円×4器，発電機 120,960円×4機，ガソリン携行缶 7,371円×4個） 580

▼防災無線維持管理事業（8－1－5－05） 12,978（35,038）

〔一般財源：12,978〕

〔事業概要・効果等〕

防災無線の維持管理を行い、災害時に市民等への情報周知を行えるように備える。

- ・防災行政無線電波料（固定局 15,900円×123局，基地局 4,450円×1局，陸上移動局 250円×101局） 1,986

▼防災訓練事業（8－1－5－06） 1,229（1,166）

〔その他：1,229〕

※繰入金：東日本大震災復興基金繰入金 1,229

〔事業概要・効果等〕

災害に対し、連携や対応を身につけるため防災訓練を行う。

- ・費用弁償（消防団出場日当 3,000円×80人） 240

▼地域防災計画改定事業（8－1－5－07） 5,400（1,176）

〔一般財源：5,400〕

〔事業概要・効果等〕

災害対策基本法の改正及び茨城県地域防災計画の改正に伴い、つくばみらい市地域防災計画の見直しを行い、災害に強い街づくりを行う。

▼市町村再生可能エネルギー導入促進事業（8－1－5－50） 8,000（35,023）

〔国県支出金：7,030 一般財源：970〕

※県補助金：市町村再生可能エネルギー導入促進事業費補助金 7,030

〔事業概要・効果等〕

太陽光発電 LED 街路灯を、福祉避難所及び避難所となる施設に整備し、災害の停電時の安全な避難誘導を行えるようにする。

